

願書記入上の注意・記入例

令和7年度(2025年度)採用 障害者を対象とした 愛知県公立学校常勤講師採用選考試験願書

| | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|------|--------|--------------------|--------------|-----------------|---------|-----------|
| 受験区分 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 特別支援学校 | | 教科(科目) 国語 | 氏名 () 漢字 | (姓) ヤマダ | (名) ショウイチ |
| | | | | 小 | 中 | | | | |
| 性別 | 男 | 女 | | 電話番号 | (0564) ○○○一 ○○○○ | 生年月日 | 昭和 7年 9月 12日生 | | |
| | | | | 携帯番号 | (090) ○○○一 ○○○○ | 平成 | | | |

| | |
|------|-------|
| 受験番号 | 記入しない |
|------|-------|

| | |
|-------|---|
| 写真貼付欄 | 写真(6ヶ月以内に撮影)裏面に受験区分・教科(科目)・氏名を記入してください。縦4cm、横3cmの顔正面写真を強力なノリで貼り付けてください。 |
| ・有 | |
| ・無 | |

| 自己アピール | |
|---|--|
| 本県の教員をめざす自分自身を自由にアピールしてください。 (本県教員を目指す理由、今までに特に力を入れて取り組んだこと、自分の個性や長所、自己PRなど) | |
| <p>愛知県内の公立学校へ講師任用に関する情報提供を希望する場合は「有」に、希望しない場合は「無」に○をつける。(これによって、愛知県教員人材銀行への登録がなされるものではありません。)</p> <p>大学又は現在勤務校で研究している 題目や内容を具体的に記入する。ない場合は「なし」と記入する。</p> <p>①司書教諭資格取得(見込みも含む)者は記入する。 ②通信教育・科目履修等で教員免許取得(見込みも含む)した場合は記入する。 ③英語の受験者以外でも語学関係の資格取得があれば記入する。 ない場合は「なし」と記入する。</p> <p>過去に処分等を受けたことがあれば、ありに○をし、その処分内容を()内に記入すること。また、その期間、処分理由を下記 職歴 欄に記載すること。</p> | |

| 特技・特徴等 | |
|---|--|
| 部活動の所属等 | 中学校 野球部(セカンド) |
| | 高等学校 吹奏楽部(トランペット) |
| | 大学 交響楽団(団長) |
| 競技・表彰等の記録 | 中学野球県大会3位 高等学校吹奏楽コンクール東海大会金賞 |
| | 大会等の名称の他に、ポジション・パート等も記入する。ない場合は「なし」と記入する。 |
| 専門 | 卒業論文「18世紀イギリスにおける海運の研究」 現任教員「歴史資料を効果的に活用して学習意欲を高める授業展開の工夫」 |
| | 司書教諭資格所有 実用英語検定準1級(H29取得) 幼稚園免許取得 名東大学科自修生(R4.4~R5.3)として高校国語免許2種取得見込み |
| 特記事項 | |
| 賞罰・処分歴等 | |
| <p>(期間を下記 職歴 欄に記入すること)</p> <p>(なし) • あり ()</p> | |

| 職歴 | 勤務先 | 所住地 | 在職年月 | 職務(職名) |
|----|--|--|------------|-----------|
| | | 職以外にも、在家庭や予備校など、在職年月の期間に途切れが生じないように記入すること。賞罰・処分歴がある場合は期間を記入すること。 | | |
| | 岡崎市立谷川中学校 | 愛知県岡崎市 | H31・4～R2・3 | 臨時的任用講師 |
| | 栄冠塾 | 愛知県岡崎市 | R2・4～R3・9 | 講師(アルバイト) |
| | 在家庭 | 愛知県岡崎市 | R3・10～R4・3 | |
| | 安城市立山川中学校 | 愛知県安城市 | R4・4～R6・3 | 非常勤講師 |
| | 職歴がない場合は、「なし」と記入する。 職歴等について、正確に記入する。最終学校卒業後から現在の職歴まで期間に空きのないように記入する。(在学中のアルバイト等は記入不要) 講師等の場合は、期限付、臨時の、非常勤等の区別を明確にする。 複数の大学等を卒業しており、その間に職歴があれば記入する。 過去に処分等を受けた場合は、処分日、処分内容・理由を記載する。 | | | |

※ 職歴がこの職歴欄に書ききれない場合は、別紙「職歴記載用紙(次紙)」に記載してください。

※ 願書に事実と異なる内容の記載があった場合は、合格又は補欠の決定を取り消すことがあります。